

# PROGRAM

## 挨拶

第4回 当番幹事 大橋十也

厚生労働省健康局疾病対策課長 田原克志

内閣官房副長官 加藤勝信

## 第一部 本邦の遺伝子治療臨床研究の今

小野寺雅史 (国立成育医療研究センター)

・国際共同研究に基づく遺伝子治療の治験実施を目指して

池田康博 (九州大学)

・網膜色素変性に対する視細胞保護遺伝子治療

玉井克人 (大阪大学)

・表皮水疱症に対する間葉系幹細胞移植治療

## 第二部 副腎白質ジストロフィー症の遺伝子治療の臨床研究

Patrick Aubourg (University Paris-Descartes , France)

・ Gene therapy for adrenoleukodystrophy and Friedreich ataxia(tentative)

Mitchell H. Finer (Bluebird Bio , USA)

・ Launching a pivotal study in childhood cerebral adrenoleukodystrophy utilizing lentiviral gene transfer into C34+ Cells - Lessons learned

Guy Alba (The European Leukodystrophies Association (ELA) , France)

・ ELA, an association of patients at the heart of the fight against the disease

## 第三部 遺伝子治療企業の取り組み

峰野純一 (タカラバイオ株式会社)

・造血幹細胞遺伝子治療の進展

長谷川護 (ディナベック株式会社)

・ウイルス工学の進歩が可能にする難病への挑戦：センダイウイルスのケース

Harald Petry (UniQure , Netherland)

・ Glybera: the successful regulatory approval process in Europe and planning steps to approach areas outside the EU

## 第四部 特別講演

Fátima Bosch (Universidad Aut3noma de Barcelona , Spain)

・ Towards a gene therapy for neurological and somatic MPSIIIA

## 閉会の挨拶

日本遺伝子治療学会理事長 金田安史 (大阪大学)

主催：  
国際協力遺伝病遺伝子治療フォーラム実行委員会

後援：  
厚生労働省「難治性疾患等克服研究事業（代表：衛藤義勝）」  
厚生労働省「成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業（代表：小野寺雅史）」  
厚生労働省「難治性疾患等克服研究事業（代表：奥山虎之）」  
NPO 法人日本ライソゾーム病研究センター・  
日本遺伝子治療学会・日本先天代謝異常学会  
食細胞機能異常症研究会

# 第4回国際協力遺伝病遺伝子治療フォーラム

4th International Collaborative Forum of Human Gene Therapy for Genetic Diseases

会場…東京慈恵会医科大学 大学一号館講堂 〒100-8305 東京都港区西新橋三丁目2番18号

日時…平成26年1月16日（木曜日）13時～18時30分

参加費…3000円

当番幹事…東京慈恵会医科大学 大橋十也